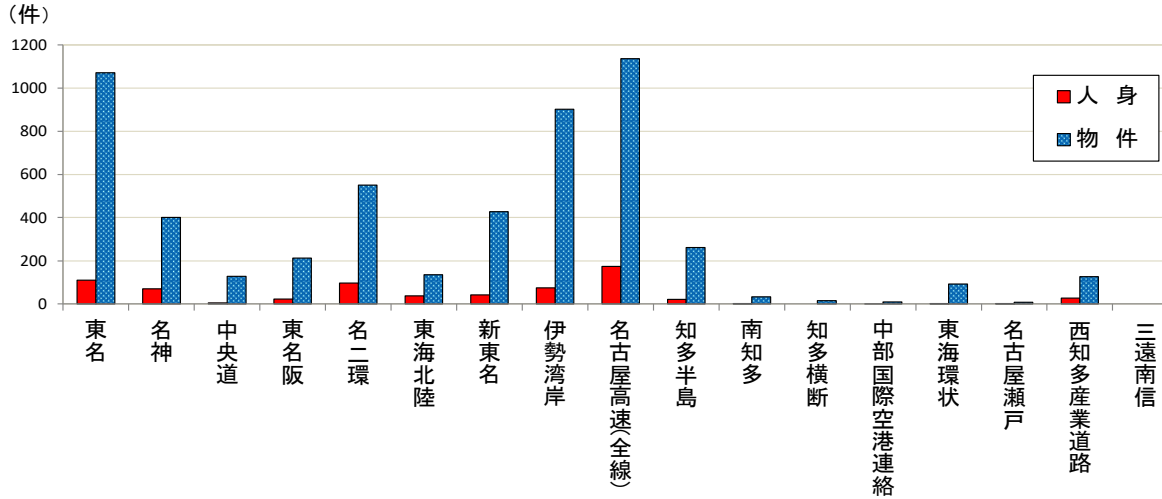


# 令和元年中の交通事故発生状況(高速隊調べ)

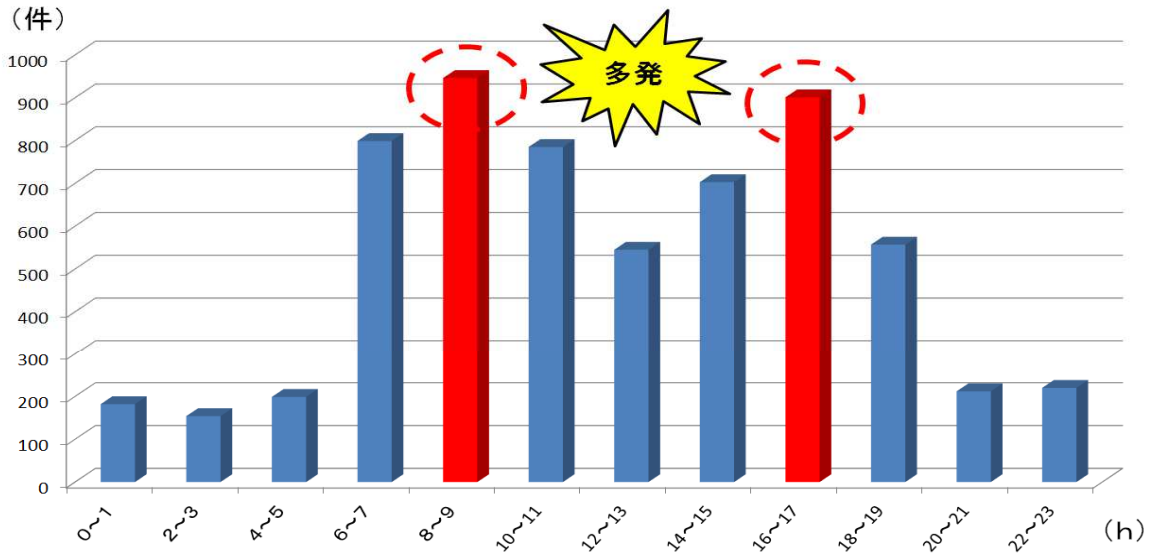
## ○路線別



路線	東名	名神	中央道	東名阪	名二環	東海北陸	新東名	伊勢湾岸	名古屋高速(全線)	知多半島	南知多	知多横断	中部国際空港連絡	東海環状	名古屋瀬戸	西知多産業道路	三遠南信	合計
人身	111	71	5	23	97	38	42	75	174	21	3	0	1	3	3	27	0	694
うち死亡	1	1					1	2	1		1							7
物件	1070	400	128	212	551	135	428	902	1135	261	34	16	10	92	8	127	0	5509
計	1181	471	133	235	648	173	470	977	1309	282	37	16	11	95	11	154	0	6203

- ★人身事故・物件事故ともに名古屋高速で多発！！
- ★物件事故は、東名高速道路と名古屋高速が1,000件を超えて発生している。
- ★伊勢湾岸では10年連続で死亡事故が発生。

## ○時間帯別

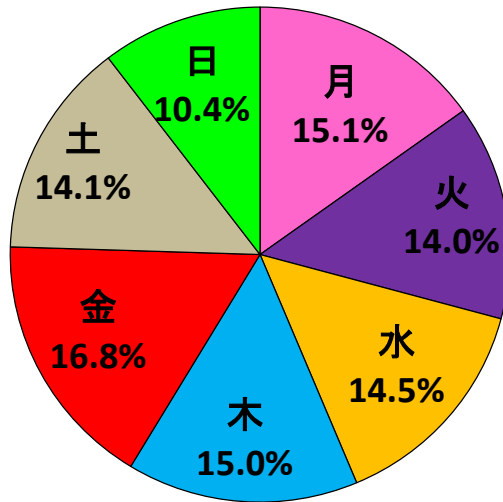


時間	0~1	2~3	4~5	6~7	8~9	10~11	12~13	14~15	16~17	18~19	20~21	22~23	合計
件数	182	154	199	799	946	785	545	703	901	557	212	220	6203
うち死亡	0	0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	0	7

※件数は物件事故、人身事故の合計件数

- ★渋滞が発生しやすい朝夕の時間帯に多発している。

○曜日別

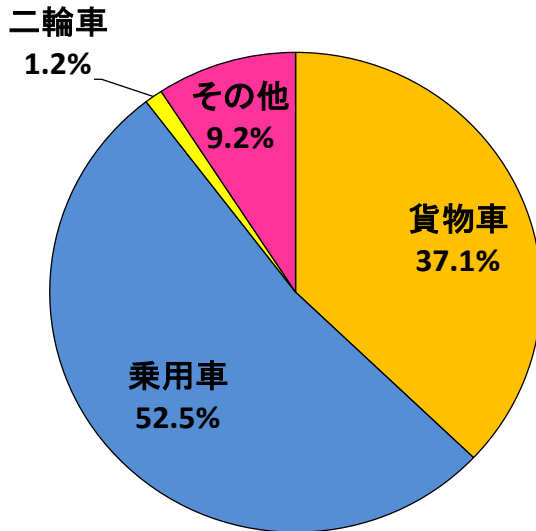


曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
件数	939	871	899	930	1044	876	644	6203
うち死亡	2	0	3	0	1	1	0	7

※件数は物件事故、人身事故の合計件数

★金曜日に多発している。  
★死亡事故の7件中6件が平日に発生している。

○車種別

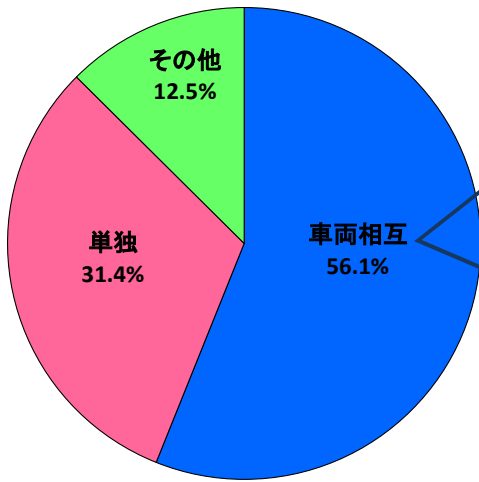


第一当事者の車種	貨物車					乗用車					二輪車	その他	合計
	大型	中型	準中型	普通	軽四	大型	中型	準中型	普通	軽四	自二		
件数	687	397	326	705	187	34	12	13	2,767	429	74	572	6,203
うち死亡	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	7
死亡率	0.29%	0.25%	0.31%	0.14%							2.70%		0.11%

※件数は物件事故、人身事故の合計件数  
※「その他」は、第1当事者が歩行者の場合、当て逃げや飛び石などによる事故で第1当事者が不明の場合の件数  
※「死亡率」は、件数に占める死亡事故の割合

★事故の第1当事者の5割以上が乗用車となっている。  
★貨物自動車、自動二輪車による交通事故は死亡事故につながりやすい。

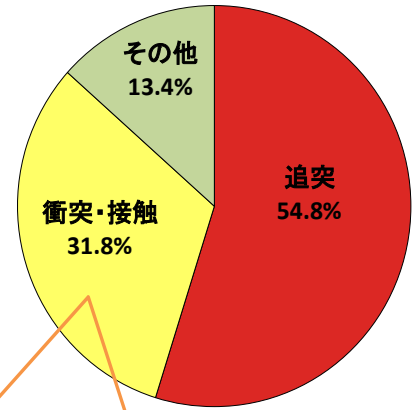
○類型別



形態	車両相互	単独	その他	合計
件数	3,478	1,948	777	6,203
うち死亡	3	4	0	7

※件数は物件事故、人身事故の合計件数  
 ※「その他」は、人対車、飛び石および積載物の転落な

車両相互の内訳



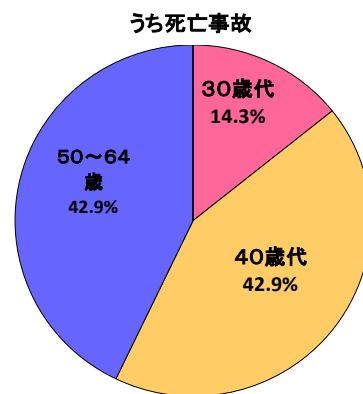
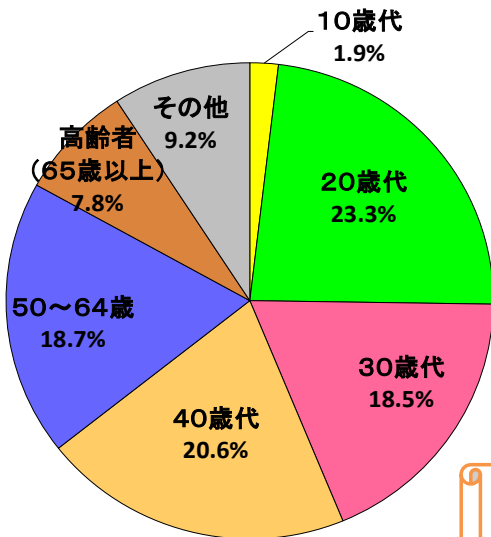
衝突・接触  
 進路変更時の衝突、本線への流入流出時の衝突、走行車両への接触など

形態	追突	衝突・接触	その他	相互計
件数	1,907	1,105	466	3,478
うち死亡	3	0	0	3

※「その他」は、サービスエリア、パーキングエリア内、インターチェンジ等での事故や、いずれにも当てはまらない事故

- ★類型別では、車両相互が5割以上を占めている。
- ★車両相互の内訳は、半数以上が追突となっている。
- ★死亡事故7件中4件が単独事故、3件が追突事故である。

○第1当事者年代別



- ★20歳代の事故発生件数が最も多くなっている。
- ★死亡事故の第1当事者は、「40歳～64歳」が8割以上。

第一当事者の年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50～64歳	高齢者 (65歳以上)	その他	合計
件数	117	1448	1149	1279	1160	481	569	6,203
うち死亡事故	0	0	1	3	3	0	0	7

※件数は物件事故、人身事故の合計件数  
 ※「その他」は、当て逃げや飛び石などによる事故で第1当事者が不明の場合の件数